

## 研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
C-210	13-327	慶應義塾大学
<b>題名 (原題/訳)</b>		
Acute effects of alcohol on brain perfusion monitored with arterial spin labeling magnetic resonance imaging in young adults. 動脈スピン標識磁気共鳴映像法でモニターした若年成人の脳灌流に対するアルコール急性効果		
<b>執筆者</b>		
Marxen M <sup>1</sup> , Gan G <sup>1</sup> , Schwarz D <sup>1</sup> , Mennigen E <sup>1</sup> , Pilhatsch M <sup>1</sup> , Zimmermann US <sup>1</sup> , Guenther M <sup>2</sup> , Smolka MN <sup>1</sup> .		
<b>掲載誌</b>		
J Cereb Blood Flow Metab. 2014 Mar;34(3):472-9.		
<b>キーワード</b>		
脳血流、アルコール、呼吸アルコール濃度、動脈スピン標識磁気共鳴映像法		
<b>要 旨</b>		
<p>多くの研究で適度な用量のアルコールが脳灌流を増加させることを確認しているが、呼吸アルコール濃度 (BrAC) の変化の増加に対応する時間経過はまだ調査されていない。また、局所の効果について研究により異なる。</p> <p>動脈スピン標識 (ASL) 磁気共鳴映像法を使用することにより、我々は、(1) 15 分の 0.6g/kg までの線形増加後、100 分の安定した露頭が続く BrAC の間の灌流の増加、(2) 灌流の局所の分布、(3) 潜在的な性差の効果、(4) 灌流効果の時間の安定性を調査した。</p> <p>ドレスデンで若年成人のアルコール効果に関する経時的研究に参加した 48 人の若年成人において、我々は(1) 脳全体の灌流がプラセボと比較し 7%の増加を認め、灌流の増加は BrAC と強く結合していること、(2) 灌流の増加が脳の大部分の領域で有意であること、(3) 効果が男性より女性でより強いこと、(4) 2 時間の時間内では急性の耐性効果は見られないことを観察した。より大規模な研究が、患者間のバリエーションの相関と同様に、効果の起源と結果を調査するために必要である。</p>		